



慶長遣欧使節団キューバ共和国ハバナ寄港 400 周年記念行事に寄せて

日本・キューバ友好議員連盟
会 長 古 屋 圭 司
事務局 長 西 村 明 宏



古屋圭司氏



西村明宏氏

慶長遣欧使節団キューバ共和国ハバナ寄港 400 周年記念行事の開催を心からお祝い申し上げます。

1613 年 10 月、石巻月ノ浦を出港した支倉常長の一行がキューバ共和国ハバナ港に寄港したのがまさに今日から 400 年前の 1614 年 7 月 23 日と言われています。この慶長遣欧使節団は、日本で建造された「サン・ファン・バウティスタ号」によって太平洋を渡り、ヌエバエスパーニャ（現在のメキシコ）との直接貿易を求めてスペインに向かった歴史的事業でありました。同時に 1611 年に起こった慶長三陸地震津波による大きな被害からの復興を印象づけた事業であるとも言われています。

日本とキューバはその後 400 年の長きに亘り友好関係を深めてきました。日本・キューバ友好議員連盟としてもこの慶事に両国関係をさらに強化すべく、本年 1 月には会長・事務局以下議員連盟幹部がキューバを訪問し、フィデル・カストロ前国家評議会議長、ラウル・カストロ国家評議会議長を始めとする要人と会談する機会を得ました。また、10 月には政治・経済界及び仙台育英学園をはじめとした教育・文化界から幅広い参加者を得てチャーター便でキューバを訪問し、ハバナで日本・キューバ交流記念事業を行う運びとなっており、今後より一層二国間関係が緊密化することは疑いようがありません。

仙台育英学園は、スポーツを通じた若者の交流を促進し、キューバとの関係を深めてきておられます。改めて加藤雄彦理事長ほか関係者の方々の御尽力に敬意を表すると共に、皆様の御健勝と仙台育英学園のますますの御発展をお祈り申し上げます。